

第2学年 社会科 学習指導案

日 時 平成28年 9月21日(水) 5校時
学 級 2年B組(男子10, 女子10, 計20名)
指導者 菊池 傑
場 所 2年B組教室

- 1 単元名 第3章 日本の諸地域 第2節 中国・四国地方
4 高齢化が進む農村と町おこし

2 単元について

(1) 教材観

本単元「第3章日本の諸地域」は、『中学校学習指導要領解説社会編地理的分野』の(2)「日本の様々な地域」にあたり、「日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域の特色ある地理的事象や事柄を他の事象と有機的に関連付けて追究する活動を通して、日本の諸地域の地域的特色をとらえさせる」ことを主なねらいとしている。

本単元の7つの節は、それぞれ日本の7地方を取り上げながら、各地方の事象間の関連を考察することで地域の特色をつかませる。各地方の構成は、生活の舞台となる自然環境と人口や産業の特色を大観する学習、中核となる考察の視点に沿って追究する学習、そして振り返りの学習の3部構成となっており、そこでは各地方の自然環境や気候を大観しながら中核的な事象と学習課題を発見し、課題解決を原動力として事象観のつながりを追究し、最終的には地域的な特色のまとめを通して課題を解き明かしていきたい。

(2) 生徒観

2年生に進級してから担当してきた生徒たちである。この学級の生徒の実態として、標準学力検査NRTテストの結果は、大領域「世界の様々な地域」が全国比94%、中領域でも地理分野5領域のうちの4領域が全国を下回っている。観点別集計でも「社会的な思考・判断・表現」が全国比79%と大きく全国を大きく下回っている。このような結果から、この単元で日本の諸地域の地域的特色をとらえ、広い視野から日本全体の地域的特色に迫り、「世界から見た日本のすがた」で学習した内容も生かしながら、思考・判断・表現を伴う学習を意識的に増やし、各観点での力を育みたい。

(3) 指導観

この節を通して学習するテーマは「都市と農村の変化と人々の暮らし」であり、「中国・四国地方の地域的特色について都市と農村の変化を人々の生活や産業などと関連づけて考察させること」並びに「過疎・過密地域のかかえる問題を具体的にとらえ、その解決が課題になっていることをとらえさせること」を主なねらいとしている。中国・四国地方の自然や人々の暮らし、都市と農村の変化を大観しながら、人口の偏りに気付き、その理由や対策をとらえながら地域の特色を考えさせ、自分たちの生活する地域にも思いをはせるよう学習させていきたい。また、学習課題に関連させた言語活動を随所に取り入れ、思考力・判断力・表現力の育成にも力を入れるとともに自分たちの生活する地域との関連性や比較を通して、日本全体の地域的特色に気付かせ、現代日本がかかえる課題や対策を考える機会としたい。

3. 校内研究との関わり

研究主題

「自ら学び、考え、表現できる生徒の育成」
～言語活動を工夫した授業づくりを通して～

(1) 学習意欲の向上

- ・学習課題の吟味，発問の工夫を図る。授業の中で既習事項を適宜入れながら，社会科全般の関連性・系統性を理解させる。
 - ・自分たちが生活する地域の実情と関連づけて考えることができるよう，身近な資料も提示する
- (西中学校区研究の視点1)

(2) 言語活動の工夫

- ・思考を伴う場面で，既習事項を利用したり，また思いをはせることで思考を深める。級友の発言をよく聞き，考え自らの学習に生かす。
 - ・ペア学習を取り入れることによって，お互いに協力し合い，高め合う授業を構築する
- (西中学校区研究の視点2)

4 単元の目標と評価規準

(1) 目標

- ・中国・四国地方の地域的特色について，都市と農村の変化を人々の生活や産業などと関連づけて考察させる。
- ・過疎・過密地域のかかえる問題を具体的にとらえ，その解決が課題になっていることをとらえさせる。

(2) 評価規準

【社会的事象への関心・意欲・態度】

- ・中国・四国地方の自然環境，人口，産業などの特色について概観する中で，特に交通網の整備と都市と農村の変化に関心を持ち，設定した研究テーマを基に地域的特色を意欲的に追究しようとしている。
- ・過疎・過密地域のかかえる問題について，身近な地域などの事象も含めて，広く関心を持っている。

【社会的な思考・判断・表現】

- ・中国・四国地方の地域的特色を人口や都市・村落を中核とした考察を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。
- ・都市と農村の変化を自然環境や人々の生活，産業などと関連付けて考察している。

【資料活用の技能】

- ・中国・四国地方の地域的特色に関する各種の地図や統計・写真などの資料を収集している。
- ・収集した資料から中国・四国地方の地域的特色について有用な情報を適切に選択して，それを基に読み取ったり図表にまとめたりしている。

【社会的事象についての知識・理解】

- ・中国・四国地方について，自然環境や人口，産業などの特色を大まかにとらえている。
- ・中国・四国地方について，人口や都市・村落を中核とした考察を基に地域的特色を理解し，その知識を身に付けている。

5 単元の指導計画

(1) 第3章 第2節 中国・四国地方

時間	学習内容	観点別評価規準	評価方法
1	中国・四国地方の生活の舞台	<ul style="list-style-type: none"> ・山陰、瀬戸内、南四国の三つの地域の自然の特色を地図や雨温図から読み取っている。【資料活用の技能】 ・瀬戸内地方の特色を、海上交通路としての役割と降水量が少ないことによる工夫から理解している。【社会的事象についての知識・理解】。 	学習プリント 発言 発表
2	中国・四国地方の人々の営み	<ul style="list-style-type: none"> ・中国・四国地方では人口が瀬戸内地方に集まっていることと角地の農業や漁業を自然環境と関連付けて理解している。【社会的事象についての知識・理解】 ・中国・四国地方の都市と農村の変化について意欲的に追究しようとしている。【社会的事象への関心・意欲・態度】 	学習プリント 発言 発表
3	都市の役割とその課題	<ul style="list-style-type: none"> ・広島市などの過密問題を身近な地域と比較するなどして関心を持っている【社会的事象への関心・意欲・態度】 ・広島市の特色を地方中枢都市としての特徴をふまえて表現している【社会的な思考・判断・表現】 	学習プリント 発言 発表
4 (本時)	高齢化が進む農村と町おこし	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎地域の分布ととその高齢化の実態について、人口の変化や人口ピラミッドの資料から読み取り、説明することができる。【資料活用の技能】 ・過疎対策について、地域の自然環境や人々の生活、産業などと関連付けながら、自分が生活する地域とも比較しながら自分なりに考え、記述することができる。【社会的な思考・判断・表現】 	学習プリント 発言 発表
5	交通網の発展による地域の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・交通網の発展による地域の変化について地域にとっての利点と問題点の両面から考えている。【社会的事象への関心・意欲・態度】 ・中国・四国地方の地域的特色について都市と農村の変化をふまえて地図などに適切に表現している。【社会的な思考・判断・表現】 	学習プリント 発言 発表

6 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・過疎地域における高齢化を、人口ピラミッドなどの資料から読み取り、さまざまな対策がとれていることをとらえる。
- ・中国・四国地方の過疎化に悩む町村を例に、過疎対策としての町おこし・村おこしの様子や人々の努力を共感的にとらえる。

(2) 評価基準

資料活用の技能	社会的事象への思考・判断・表現
<ul style="list-style-type: none"> ・過疎地域の分布ととその高齢化の実態について、人口の変化や人口ピラミッドの資料から読み取り、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎対策について、地域の自然環境や人々の生活、産業などと関連付けながら、自分が生活する地域とも比較しながら自分なりに考え、記述している。

(3) 本時の展開

段階	学 習 内 容	生徒の学習活動	◇評価・留意点など
導 入 10 分	1 前時の復習 ○既習事項を振り返る ・過密化とはどのような現象か ・過疎化とはどのような現象か ・過疎化地域の風景を思い浮かべる 2 学習課題の設定 ○中国・四国地方の現状把握	○問いへの想起・反応 ・過密化について確認する ・過疎化について確認する ・ワークシートに記入して、思い浮かべた内容を交流、発表する ・教科書資料1～3と地図帳を使い、それぞれの現状を読み取る	※過密化は前時に学習、過疎化は1学期の既習事項である ◇超高齢社会、山間部の過疎町村の分布を読み取ることができたか(評価)
中国・四国地方の農村では過疎化の問題にどう取り組んでいるのだろう			
展 開 30 分	3 課題追究 ○予想 ・過疎地域はどう変わっていけばよいのだろう(目的) ・だれが主体となって取り組んでいくのだろう ○追究① ・主体と目的を整理させる ・立場と目的を明確にした上で、グループごとに取り組みを考えさせる ○追究② ・導入部で過疎化の風景(マイナス的なこと)としてあげられた点について考えさせる ○検証 ・実際の取り組みを確認する ・その他の有効な取り組みを紹介する ・遠野市での事例を紹介する	○問いへの想起・反応 ・ワークシートに記入して、考えた内容を各自発表する ・各自発表する ○問いへの考察 ・実現可能な組み合わせを考える ・グループごとに人口増加を図る、観光客を増やすための方策を考え交流、発表する ○問いへの考察 ・例えば「山だらけ」、「高齢者だらけ」、「廃校」などを利点とすることができないかをグループごとに考え、発表しあう ・教科書を使い、確認する ・キャラクターのオブジェ通りやさまざまな記念館を知る ・遠野市での町おこしの事例をあてはめて考える	※人口増加(若年層の人口増)、観光客増加などの考えが多いと思われる ※町・村・若年層・商工会などが主体となることを確認したい ◇過疎対策について考えることができたか① (評価) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">研究の視点2</div> ◇過疎対策について考えることができたか② (評価) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">研究の視点2</div> ※遠野市の取り組みは身近な事例として説明する <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">研究の視点1</div>
終 末 10 分	4 本時のまとめと振り返り 5 次時の見通しをもつ	○学習課題について自分の考えや感想をワークシートにまとめ、本時の目標にそって、自己評価をする	

(4) 板書計画

P176. 4. .高齢化が進む農村と町おこし

学習課題

・過疎化・・・

○予想

・

・過疎化の風景・・・

・

○対策①

できること

誰が

○現状

・

・

・

・

・

・

・

○対策②(生かす)

・

・

・

○遠野市の取り組み

○まとめ